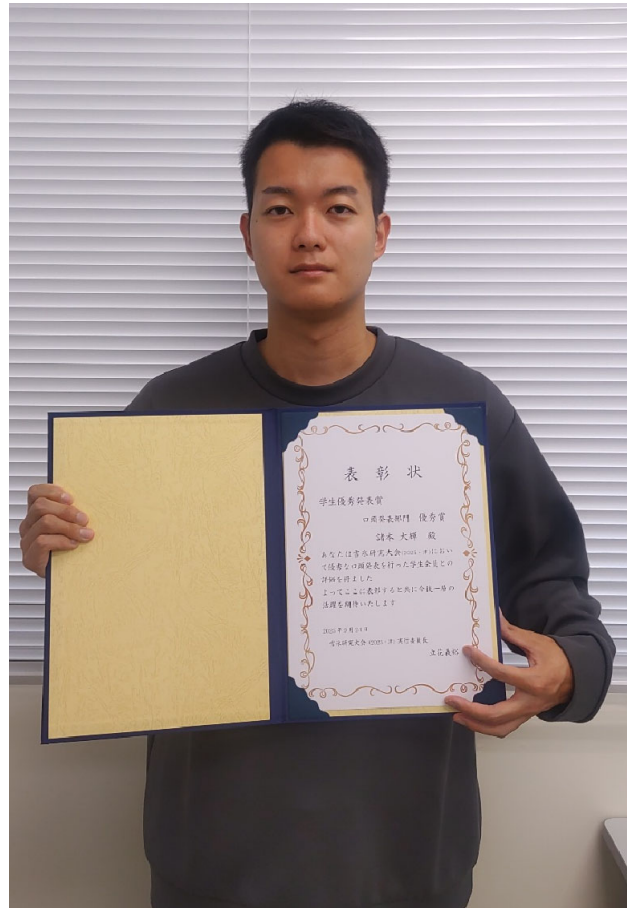


諸本大輝さん(自然科学研究科環境科学専攻・博士前期課程 2 年)が雪氷研究大会(2025・津)において学生優秀発表賞の優秀賞(口頭発表部門)を受賞しました。

令和 7 年 9 月 7 日から 9 月 10 日にかけて三重県津市にて開催された雪氷研究大会(2025・津)(主催:日本雪氷学会・日本雪工学会)において、自然科学研究科環境科学専攻災害環境科学コース・博士前期課程 2 年の諸本大輝さんが学生優秀発表賞の優秀賞(口頭発表部門)を受賞しました。

この賞は、学生優秀発表賞セッションにおいて、優秀な発表(研究内容、発表の質)を行った日本雪氷学会及び日本雪工学会の学生会員に授与される賞です。

諸本さんは、「山地積雪に適用可能な全層平均密度の時間変化の推定方法」と題する口頭発表を行い、年や時期によって変化する山地積雪の全層平均密度を気温データのみを使用して推定する手法を考案しました。近年、火山防災(融雪型火山泥流)や水資源管理等の観点から、航空レーザ測量や UAV 測量を用いた山地の積雪分布調査が各地で行われていますが、積雪水量分布を正確に推定するためには全層平均密度が必要となります。諸本さんの考案した推定方法を用いると、気温データのみからこれを推定できるため、山地の積雪水量分布の推定に大きな効果があると考えられます。



指導教員: 災害・復興科学研究所 河島克久 教授

関連学会や研究内容 URL

公益社団法人日本雪氷学会 <https://www.seppyo.org/>

雪氷研究大会(2025・津) <https://sites.google.com/view/2025jcsir>